

平成 30 年度 文部科学省 全国学力・学習状況調査結果について

1 平均正答率（得点）等について

(1) 結果

	国語 A (基礎)	国語 B (活用)	算数 A (基礎)	算数 B (活用)	理科
全国比較	同程度である	やや上回っている	同程度である	やや上回っている	同程度である

(2) 分析した傾向や課題

国語では、「漢字の読み」などの基礎的な内容をはじめ「話し合いの中での報告の説明として適切なものを選択する」「手紙の書き方」「物語文を音読して気が付いたこと説明として適切なものを選択する」などに課題があります。

算数では、基礎的な「図形の問題」「□を使った式」、応用問題では「円の直径と割合との関連問題」に課題があります。

2 特に正答率が低かった問題

国語	算数
<p>国語 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）。 ●『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する。 ●【話を聞いている様子の一部】のア、イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する。（相手や場面に応じて適切に敬語を使う。） ●文の中で漢字を使う。（製造） ●文の中で漢字を使う。（管理） <p>国語 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する。 ●これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、<input type="text"/>を書く。（話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。） 	<p>算数 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●針金 1 m の重さを求める式を選ぶ。 ●答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ。 ●3 桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く。 ●二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ。 ●角の大きさが、何度であるかを選ぶ。 ●分度器の目盛りを読み、180° よりも大きい角の大きさを求める。 ●円周率を求める式として正しいものを選ぶ。 ●円の直径の長さが 2 倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ。 ●200 人のうち 80 人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ。 ●示された事柄が両方あてはまるグラフを選ぶ。 <p>算数 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く。 ●全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く。
<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ。 ●鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ。 ●腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。 	

理 科	<ul style="list-style-type: none"> ●一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く。 ●回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ。 ●目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ。 ●食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ。
--------	--

3 今後の取組

(1) 学校における取組

—国語—

- 漢字や慣用句を読んだり書いたりする機会を意図的・計画的に設定し、小テストなど定期的に仕組む。
特に同音異義語などの問題も、新出漢字の学習の折に意図的に扱い、習熟を図る。
- ペアやグループ、全体で話し合う時間を設定し、計画的に話し合いができるようにする。

—算数—

- 小数のある四則計算、割合などの基礎基本を補充する。
- 図形や角に関する問題の補充問題や発展問題を仕組む。

—理科—

- 実験後の結果の整理や考察の場面で、グループ交流を取り入れるなど丁寧に扱い、児童の思考力を高める。
- 動物の体のつくりなど、既習の内容についても計画的に補充し習熟を図る。

(2) 家庭における取組のお願い

(生活習慣に関すること)

家庭における5つの取組(食・あいさつ・そうじ・自学・ことば)の目標を、お子様とともに再確認して、毎日実践するようにお願い致します。各学年で決められている学習時間・内容を再度ご確認ください、宿題に加えて「自由勉強」にも積極的に取り組むように指導してください。また、毎日、住吉っ子ノートに目を通し、お子様のがんばり・よさ・成長を誉めてくださるようお願い致します。

(家庭学習に関すること)

- ・テレビを消して、静かな学習の場を設定してください。**(70分以上の学習時間の確保)**
- ・時間や内容については、「住吉っ子ノート」をご確認ください。お子様が集中して学習できる環境づくりをお願い致します。学校からは、次のような宿題を出しますので、お子様への声かけをお願い致します。

①国語

- 漢字の練習(これまで習った漢字をテストする)・音読(決められた時間で読む)
- 読書(図書館の利用を促す取組・テレビやゲームの時間を決める)
- 語彙力向上のための国語辞典と漢字辞典活用
(言葉や慣用句の意味・漢字については自分で調べる)
- 新聞や雑誌に触れさせることで、教科書以外の文章読解力を身につけること
- 日常の会話の中での正しい言葉づかい(主語と述語)

②算数

- 四則計算(計算ドリル・計算プリント・過去の学力状況調査の問題)→特に小数・分数
- 円周と円の面積
- 単位量あたりの問題
- 文章問題に多く取り組ませることで、答えを導く過程を数直線や図を使って説明・立式できるようにすること(学習プリントの活用)

